

定期検査中の福島第二原子力発電所2号機圧力抑制室の塗装はく離作業 における内壁の一部けずれについて

平成19年6月8日
東京電力株式会社

当社・福島第二原子力発電所2号機（沸騰水型、定格出力110万キロワット）につきましては、平成19年4月6日より第17回定期検査を実施*¹しておりますが、圧力抑制室内壁（鋼鉄製、厚さ約40mm）を塗装するための準備工事として、協力企業作業員が細かな金属粒を吹き付けて塗装をはく離する作業*²を実施していたところ、誤って作業予定以外のノズルを手にとっていたため、床に置かれていた本来使用すべきノズルから金属粒が噴出し、当該室内壁の一部がけずれた（長さ約9cm、幅約4cm、深さ約6mm）ことを、午後2時30分頃、当社社員が確認いたしました。

今後、原因について調査するとともに、補修をいたします。

これによる外部への放射能の影響はありません。

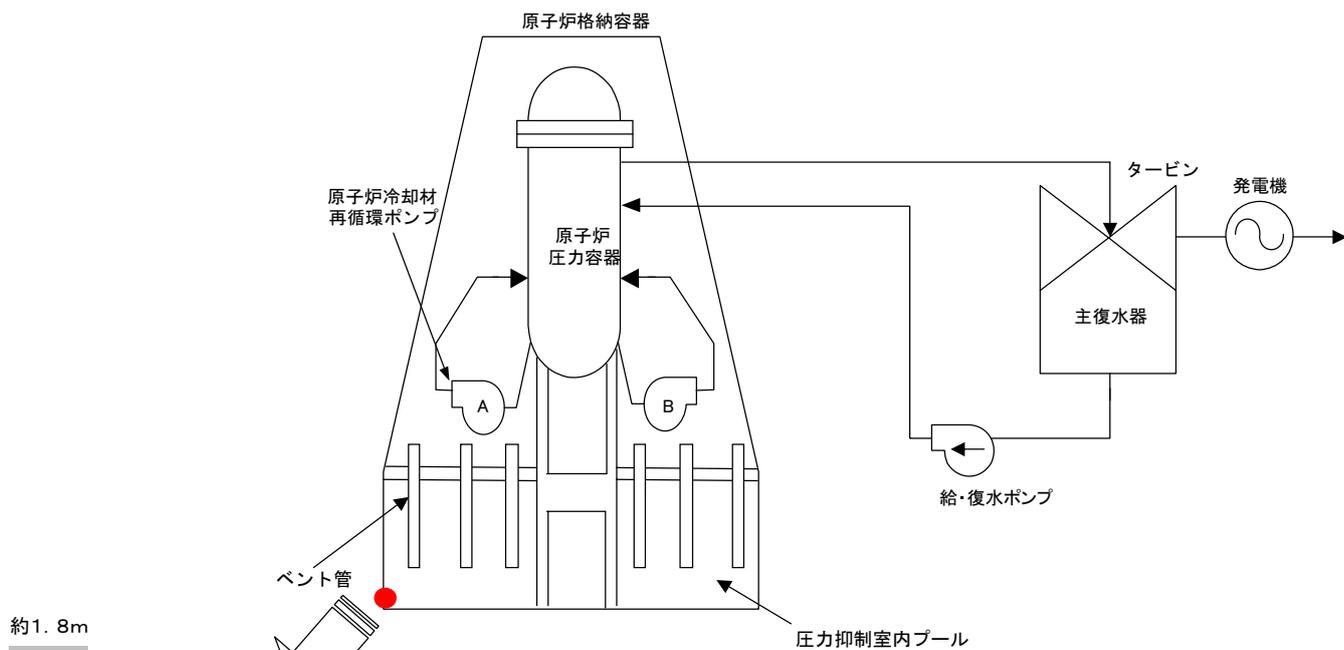
以上

*1：定期検査を実施

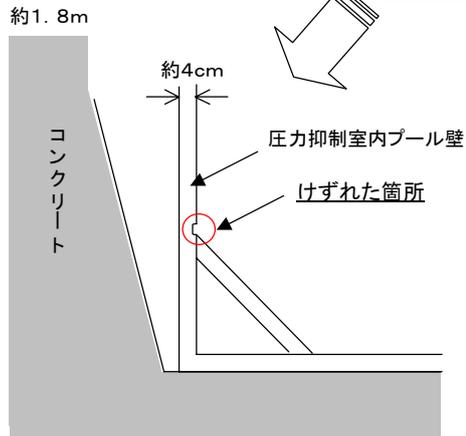
現時点では、原子炉内には燃料がない状態で定期検査を実施中。

*2：塗装をはく離する作業

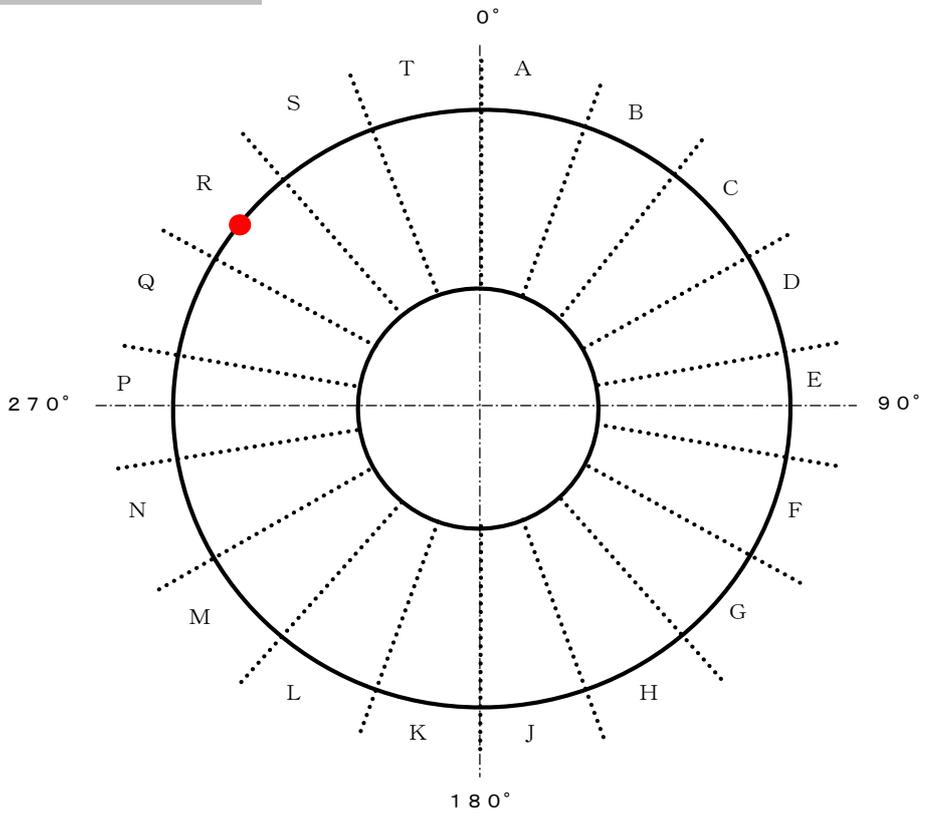
圧縮空気にて細かな金属粒を塗装する箇所に吹き付けることにより、塗装をはく離し、塗装面を粗くして塗料が乗りやすくする作業。作業は複数のノズルを利用して行う。



系統概略図



原子炉格納容器



圧力抑制室内プール平面図